

第2回 第1章 現代の政治

第1節 民主政治の基本原則

民主政治の成立

講師

藤井 剛

学習のねらい

世界中のほとんどの国が採用している政治形態が民主政治です。では民主政治とはいったい何なのでしょう？ また、どのように成立してきたのでしょうか？ 身近な例から考えていきましょう。

調べておこう
覚えておこう

市民革命／法の支配／国民主権／絶対王政／自然権／
権力分立／二院制／三権分立／多数決／
地方公共団体／政治／支配／王権神授説／社会契約論

※下記の空欄 _____ を「調べてみよう 覚えておこう」の語句で完成させましょう。

POINT 1

多数決には従わなくては行けないの？

- 社会や国家は多くの人が集まって成り立っており、さまざまな意見を持っていますから対立することもあります。その対立することなどを話し合っ、妥協したり、合意したりする過程を ① _____ と呼んでいます。
- 民主主義という言葉は、デモクラシーの訳です。もともとはギリシャ語が語源で、デモスは「民衆」、クラチアは「支配」という意味で、民衆による ② _____ を指す言葉です。そして「民主政治」とは、民主主義に基づく政治を指し、やさしく言い直すと「自分たちのことは自分たちで決める政治」のことです。
- 「民主主義」というと ③ _____ を思い浮かべるかもしれませんが、もし多数決を取るとしてもその前にいろいろな条件が必要です。

POINT 2

民主政治への歩み

- 「民主政治」は、17～18世紀にかけて、イギリスのピューリタン革命や名誉革命、アメリカの独立革命やフランス革命などの ④ _____ で ⑤ _____ が倒されて成立しました。
- 市民革命の背景には、絶対王政の根拠とされていた ⑥ _____ を、⑦ _____ が否定したことや ⑧ _____ の存在があります。
- 社会契約論とは、⑨ _____ を持った個人が、よりよい生活や社会を求めて国家

